



主 演 花 岡 一 子

11













なつかしき彼女  
『若い人』以来、久しう夏川静江の筆を  
作の小説はあまりにも有名である。東渡では『小島春』、『小川正子』  
夏川静江を主として、文壇、第一流、前進派の作家として、秋シズ  
ンの期待の一つである。



### 満系フアンへ福音

### 演藝協會大活躍

●在日日本人演藝協會が、満洲に於ける演藝活動の発展に、協賛の  
●使命として、満洲に於ける演藝活動の発展に、協賛の  
●使命として、満洲に於ける演藝活動の発展に、協賛の  
●使命として、満洲に於ける演藝活動の発展に、協賛の

### 北京の名優續々來演

### 馬連良、程硯秋等々々々！

### 日系フアンも大きな期待

●大衆の演藝活動の発展に、協賛の  
●使命として、満洲に於ける演藝活動の発展に、協賛の  
●使命として、満洲に於ける演藝活動の発展に、協賛の  
●使命として、満洲に於ける演藝活動の発展に、協賛の



（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）



（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

### 絶賛の朝鮮樂劇團

### 愈々國都公演、日取決る

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

### 文化映畫

### 文部省

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

### 廿年來梅若問題

### 解決の機運熟す

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

### タキキ映畫

### 娘に凱歌あがる

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

### 正式映畫推薦

### 半島總督府

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

### 三古參俳優

### 新興退社

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

### 迷子探偵

### ロンドン通走

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

### 世界名曲集

### 第一集

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

### 世界名曲集

### 第二集

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

### 世界名曲集

### 第三集

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

（先づ）

都住の記

神田の富山町といふ蒲鉾の  
類は今の町に於て、近く  
の春日の夜店、神田明神の  
祭連を引率し來た追すな  
の人情は洋風に流れては  
新橋の上の人防衛、これ  
の御根柢の土に陥り、兩國  
の間開きを見ることが、畫  
の水、新嘉の市中に住して  
た一々した身は一人生し  
い。この斷片風記、記憶である  
その富山町へ正丁三丁の  
震災以來、町並りに於て、其  
頃にしては遠くで省れるも  
しなかつた高麗寺へ移れた  
ものもいつか古い話となつて  
了つた。

高麗寺は今こそ新興住宅  
宅心に商店街をして學乃瀧  
市より多にも澤内市とも  
も隣比した町となつたが  
私が移つた當時は有線

渡邊洪一郎

も概ね歩手今は中野驛  
りで、二階建ての空屋際  
と構のだらうぢやないなど  
三十軒餘の發賣と得格  
て夏のは盛りと榮え、それ  
ひいては家並ゝあつて、  
つて、何處の新築でもなく  
の樣に、雖もカネノチヤ  
一の樓に建ちたる洋一  
やアヂヤの唄が聞れる  
姿を見ても、飄然と天高く  
委を乞ふ、その體裁と不  
隆と、それから又、  
の巧みに至る義理に好  
持たされて現れた、健康  
なりといふことがあら  
もう死んで了つてがアド  
マデヂウといふ供儀の

### 私小説の現實性(三)

坂野透

閑話休題、斯うしたとき、スタンシア・アリゾムは行動を決して作家の無意の行動であつたのは否か、一例を挙げると山田花火の唱出した「平面描寫」の如く、作家意味でのタイプであつたのだ。

彼の生立そのものを見るべし、彼が如何に外面的リリストであつたか、と對するである。

彼は十九歳の時、松原屋男なる桂國直系の歌人に師事した。この歌人は東京にアリスト・タツタ・テンデ・ン・シを深め、師を受けたてゐたところ、東京の「三年」に書いてゐた。

「歌はこゝろのものにをらず調ふるものなり」まことに調ふるの理を持つてゐる「小桃源」にしても、それ

が作者自身に隠された憂鬱、不調に終つた事實、作品化したもの、けあつた實感のあり、素朴であつた、しかし悲しいものゝをたゞ現象として見たのである。それ等にも等しい疑いをもたれたか、それに対して、反抗や批判等もなかつたことは勿論である。その現象を以て考へてみてよとする人々とはなつた。

併し、何と云つても文藝界の大敵所たる雑誌は、彼等の「女教師」「田舎教師」等に比べて表へてゐる以上、を觀する能力を得て來る「事態」それと、一人一人の女――それは對等な一人の男の誠實無言の

病臥小吟

郵便を幾日變しでも嫌しべしや嫌しべからふさ  
 とも昔思ふ  
 此はなりき文のありや寫眞落つとをためてはつね  
 に斯新なる  
 あふむけに臥しをるのみに日に態度やせすはつたふ  
 平めくはむ  
 三人兒をかくる吾の病みがちにりと兒をおきて  
 兄のかはむ  
 はや三年にかひの渦のなかにし君ありて極しラ  
 プの學位  
 軍醫少尉の君たかひの小間に通函飲みつゝ笑ひ寫  
 眞はや  
 實は吾がせむる重よりかはりもすくゞラディ  
 家が行方不明の記  
 主のまなワシシワがなまかりて二日ぐればば  
 道程の曉つて

一 國民文學同人 哈爾濱在住

帶地祿


[illegible]

姊


[illegible]

いさ下覽御をグンキ刻郎！に強國え榮は家！力協策國てつぞこ民國


時局下農村青年の座談會



氏博 藤田吉



氏治 常藤加



士衛 三佐野高

▲時局の求むる青年

▲成功への道

▲独逸の切符制

はじろふ  
てゐるか

金澤市七番  
福田喜東

▲時局の求むる青年

▲成功への道

▲独逸の切符制

はじろふ  
てゐるか

金澤市七番  
福田喜東

▲時局の求むる青年

▲成功への道

▲独逸の切符制

はじろふ  
てゐるか

金澤市七番  
福田喜東

▲時局の求むる青年

▲成功への道

▲独逸の切符制

はじろふ  
てゐるか

金澤市七番  
福田喜東

▲時局の求むる青年

▲成功への道

▲独逸の切符制

はじろふ  
てゐるか

金澤市七番  
福田喜東

▲時局の求むる青年

▲成功への道

▲独逸の切符制

はじろふ  
てゐるか

金澤市七番  
福田喜東

▲時局の求むる青年

▲成功への道

▲独逸の切符制

はじろふ  
てゐるか

金澤市七番  
福田喜東

▲時局の求むる青年

▲成功への道

▲独逸の切符制

はじろふ  
てゐるか

金澤市七番  
福田喜東

▲時局の求むる青年

▲成功への道

▲独逸の切符制

はじろふ  
てゐるか

金澤市七番  
福田喜東

▲時局の求むる青年

▲成功への道

▲独逸の切符制

はじろふ  
てゐるか

金澤市七番  
福田喜東

▲時局の求むる青年

▲成功への道

▲独逸の切符制

はじろふ  
てゐるか

金澤市七番  
福田喜東

▲時局の求むる青年

▲成功への道

▲独逸の切符制

はじろふ  
てゐるか

金澤市七番  
福田喜東

大活羅

愈々白く爲なる國策の使者

熱狂大評判の小説

キング推薦の紙芝居と讀切小説傑作

# 紙芝居傑作集

軍國少女恒子  
戦線手紙と兵隊  
銃後美しき勝利  
工場美しき勝利  
義談美しき勝利

感激靖國の惟小森盛  
物語大將首山本  
武語大將首山本  
物語大將首山本

諸君愛のケイブルカ海老原  
小説愛のケイブルカ海老原  
いさかひ越えし夢にケルンで情熱の涙ありて大手前説いさかひ越えし夢にケルンで情熱の涙ありて大手前説

探偵彼女微笑めば三郎  
小説彼女微笑めば三郎  
探偵彼女微笑めば三郎

武門八軍忠状  
鷲尾雨工  
忠義一脈朝突された足輕團八が機と出世を兩手に握る証書業火物語。

野崎正樹  
二つの恋  
大空の勇士  
水やめ島  
治川雄貫  
武小雄貫

# 支那事変と歐洲大戰

名家の隨筆  
荒木貞夫  
南薫造  
青南薫造  
酒井三郎  
小尾純治  
有元武志  
清元梅吉

兪快の王國キング大魔樂園  
日本英雄會談談社三編

# 大地の朝

諏訪三郎氏渾身の力作

家庭で出来る國策協力  
地下軍の手長持法▲國策總綱▲毛糸骨料理▲用法▲農業費のセント代用▲廢品利用四種▲山に遊ばし愛兒を懐ふ(甲賀三郎)

小田説園



中祇寺

あけみは突然手摺から半身を起すと智津子にピツタツと向き

『さうよ、さうよ、その人の言つてゐる事、當つてゐる。先程からあけみはしやい

りあげてゐるのだ。こみぎ

けてくる涙を押へる度に抱いてゐるあけみの肩がひものやうに震へるのだ。

三角、唐兒島那湖行  
午後三時大出  
事務所、大連、奉天、  
哈爾濱、譯とビュ  
て近路、箱根、

里部に殺路もなく順し  
 く對勢に斷方即ち時  
 早々全快の通知亦し可く密の  
 離陸來の速く又離陸するものなる説を此の點に更く午中  
 候も最中時離陸の位能も無之疑ひに據へず速く離陸開始候。

肉鳥専門  
わかしと  
電話 三二九八五

高き焼  
専門火店

新宗タヤ街  
即温泉閣  
電話 三二八五五

御宴會は名譽を  
特に御相談  
季節味覚

料理  
為枝通家  
電話 三二八五五  
電話 三二八五五

新展の權威  
タイプライター  
事業促進ストライク  
日本タイライター株式会社  
新島組日通へ 電話 三二八五五

質  
タイヤ街  
秋本質店  
電話 三二八五五

融金工商小中  
速 迅 便 輕  
社會式株業實省東  
（西橋大同大市別特京街 所在在）  
（番七一九四二話電）内ルビ海東

屋博七第  
やちあ  
三三五五三 電 表望會公七二三町三

パーマメント

タイヤ街  
王屋理髮院婦人部  
電話 6244